農林水産省九州農政局

九州農政局　総務課

今日お話すること

1．農林水産省について

2．九州農政局で働くとは

3．採用案内

農林水産省は何のために存在しているか

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、
生命(いのち)を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産行政の流れ

政策の企画・立案（主に本省）

政策の実行（主に地方農政局、北海道農政事務所）

- 課題の設定
- 基本的な方針の作成

→

- 政策手法の検討（法令、事業等）

→

- 政府内、外部との調整
- 法令作成、予算の確保

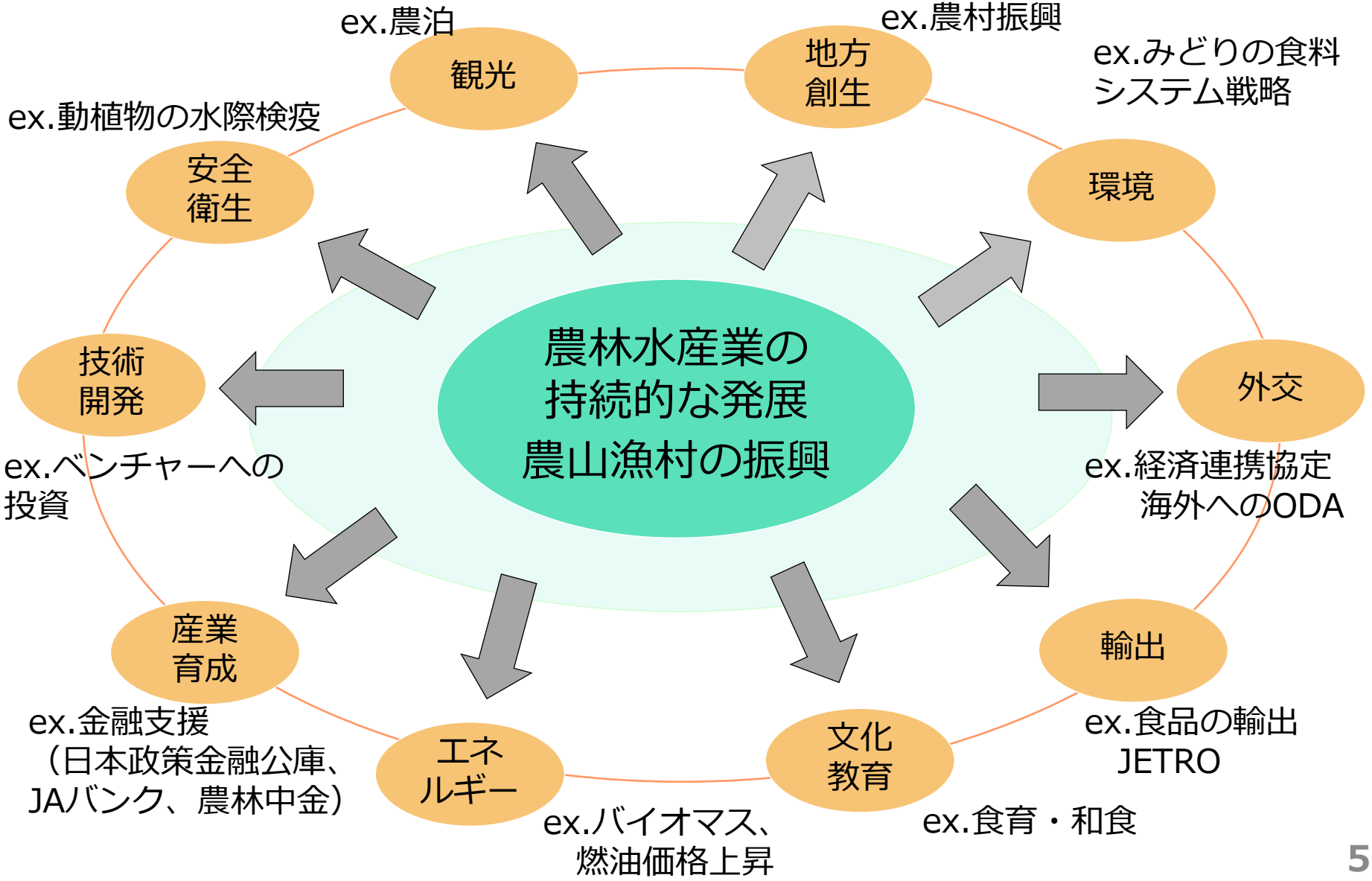
→

- 政策の現場への周知
- 法令、事業等の執行（検査、交付等）

→

- 政策情報の収集
- 現場の問題点の把握

１次産業を核とした多様なフィールドと豊富なツール

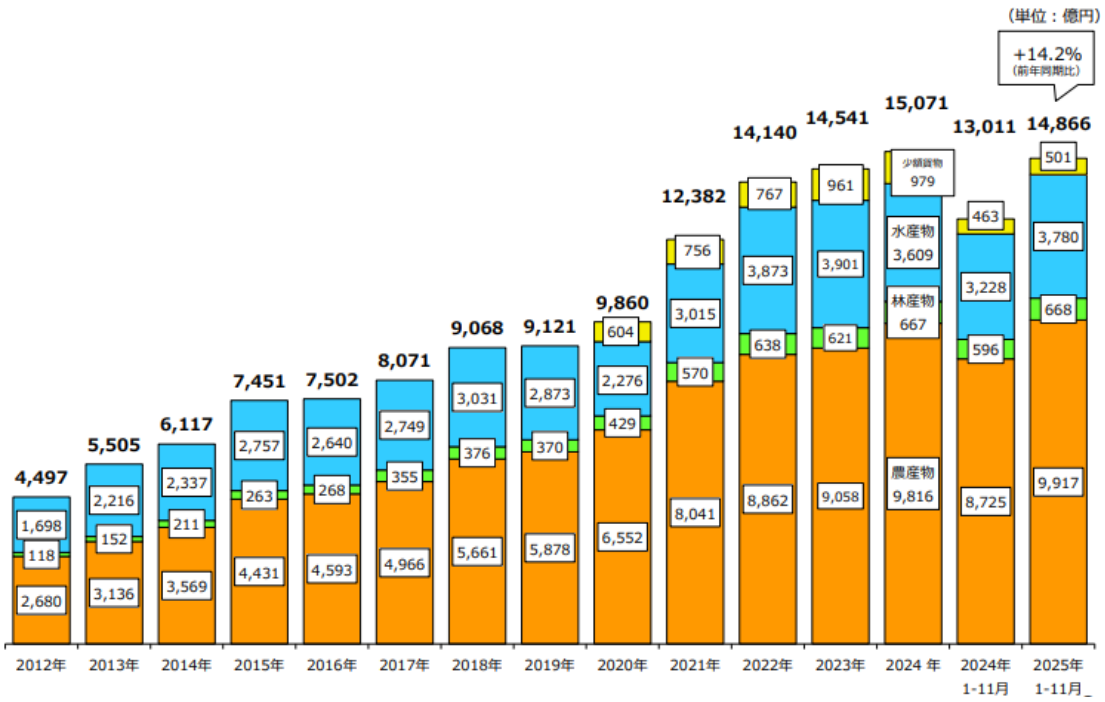


農林水産業の持続的な発展：輸出促進

近年急速に増加。2021年１兆円目標を突破！

2030年輸出額５兆円の目標達成を目指す。

○農林水産物・食品の輸出額



○諸外国の農産物・食品の輸出割合

（億ドル）

国名	生産額（農産物・食品製造業）	輸出額（農産物・加工食品）	輸出割合
アメリカ	12,335	1,442	12%
フランス	2,591	730	28%
イタリア	2,302	485	21%
イギリス	1,548	286	18%
オランダ	1,066	1,018	95%
日本	4,725	84	**2%**

注：日本以外の諸外国の林業・漁業生産額については、比較可能な統計がないことから、生産額、輸出額とも含めていない。日本のみ農林水産物として算出。
資料：FAOSTAT, 三井物産戦略研究所，Global Trade Atlas,生産農業所得統計,工業統計,林業産出額,漁業産出額,農業・食料関連産業の経済計算

農林水産業の持続的な発展：テクノロジー活用

「農業」 × 「先端技術」＝「スマート農業」

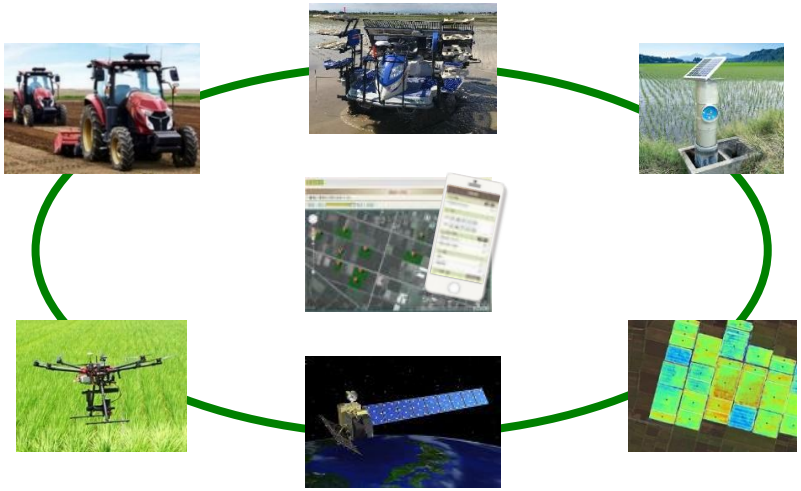
「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと

スマート農業の効果

① **作業の自動化**
ロボットトラクター、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手不足の解消が可能に

② **情報共有の簡易化**
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に

③ **データの活用**
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に



データ連携基盤

農業データ連携基盤

スマート農業に必要なデータを連携・共有・提供。

WAGRI

連携

スマートフードチェーンプラットフォーム

生産から加工・流通・販売・消費に至るデータを連携。

ukabis

農林水産業の持続的な発展：みどりの食料システム戦略

①食料システムの関係者の理解の増進

食から日本を考える。
NIPPON FOOD SHIFT

- 広報活動の充実

②技術の研究開発の促進

- 産学官連携の強化、研究者の養成等

③技術の普及の促進

- 栽培マニュアル等の情報提供や普及事業の展開

④環境負荷の低減に資する生産活動の促進

- 地力増進、化学肥料・化学農薬の使用低減、温室効果ガスの削減・吸収　など

⑤環境負荷の低減に資する原材料の利用の促進

- 原材料の生産等の状況に関する情報収集・提供

⑥環境負荷の低減に資する農林水産物等の流通の合理化の促進

- ICT化、モーダルシフト、集出荷拠点の集約化等

⑦環境負荷の低減に資する農林水産物等の消費の促進

- 消費者への適切な情報提供、食育の推進

⑧評価手法等の開発

- 脱炭素化等の定量化・評価手法（見える化）の検討

農地・農業水利施設の整備：国営土地改良事業

	事業内容	事業を実施する上での課題
①かんがい排水事業	○　農業水利施設（ダム、堰、用排水路、用排水機場等）の整備・更新 	○　基幹的水利施設の２割が耐用年数を超過 ○　点検・補修による長寿命化の推進
②農地整備事業	○　農地の大区画化・汎用化、畑地かんがい施設の整備 	○　狭小・不整形の農地は作業効率が悪く、担い手農家も敬遠 ○　大区画化・汎用化により生産コストの大幅削減と収量の増大
③農地防災事業	○　集中豪雨・地震等の自然災害に対応するための排水機場の整備や老朽化したため池の改修等 	○　集中豪雨の多発化 ○　全国約21万箇所のため池のうち約1.4万箇所が警戒すべきため池（決壊による下流への影響が大きいもの）

今日お話すること

1．農林水産省について

2．九州農政局で働くとは

3．採用案内

公務員における職種の違い

□▼総合職と一般職の違い

総合職　・・・　政策の企画立案業務

一般職　・・・　政策の企画立案業務、行政の運営管理業務

□▼地方公務員と国家公務員の違い

地方公務員　・・・　地域密着型の仕事

国家公務員　・・・　日本のあり方を考えるスケールの大きい仕事

※農政局等の地方組織での仕事は、生産や消費の現場により近い国の機関のため
現場の声を聞きながら、地域の実情にあった各種施策を実行する仕事

□▼他省庁と農林水産省

どの省庁も、国民のため、国民に不可欠な行政サービスを提供

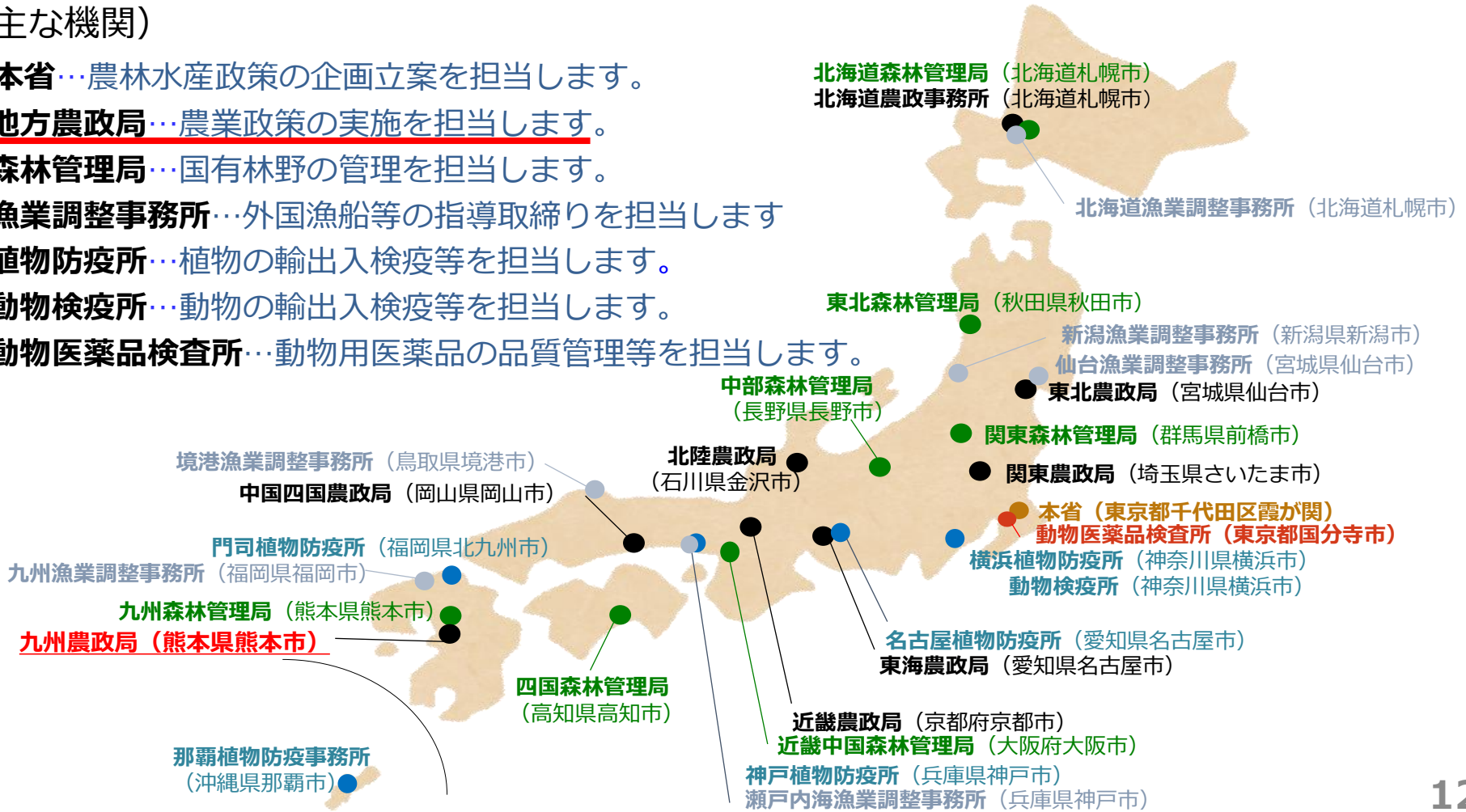
農林水産省は、豊かな「食」と「環境」を未来へつなぐ使命を果たす。

農林水産省の組織

農林水産省は、本省（約５千人）と全国の各地方ブロック機関（約１万４千人）で構成され、総定員数は約１.９万人です。

（主な機関）

- **本省**…農林水産政策の企画立案を担当します。
- **地方農政局**…農業政策の実施を担当します。
- **森林管理局**…国有林野の管理を担当します。
- **漁業調整事務所**…外国漁船等の指導取締りを担当します
- **植物防疫所**…植物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物検疫所**…動物の輸出入検疫等を担当します。
- **動物医薬品検査所**…動物用医薬品の品質管理等を担当します。



農林水産省（本省）の組織

大臣官房
（基本的な政策・計画の企画立案、予算、法令、国会、広報、食料安全保障、環境政策）

品目共通課題【横軸】
（環境、防疫、国際交渉、新規就農、インフラ整備など）

消費・安全局
（食の安全確保、植物防疫、動物検疫、食育）

輸出・国際局
（輸出促進、国際交渉、知的財産、国際協力）

経営局
（新規就農、農地、農協、金融、税制、保険）

農村振興局
（インフラ整備、農村活性化、鳥獣対策）

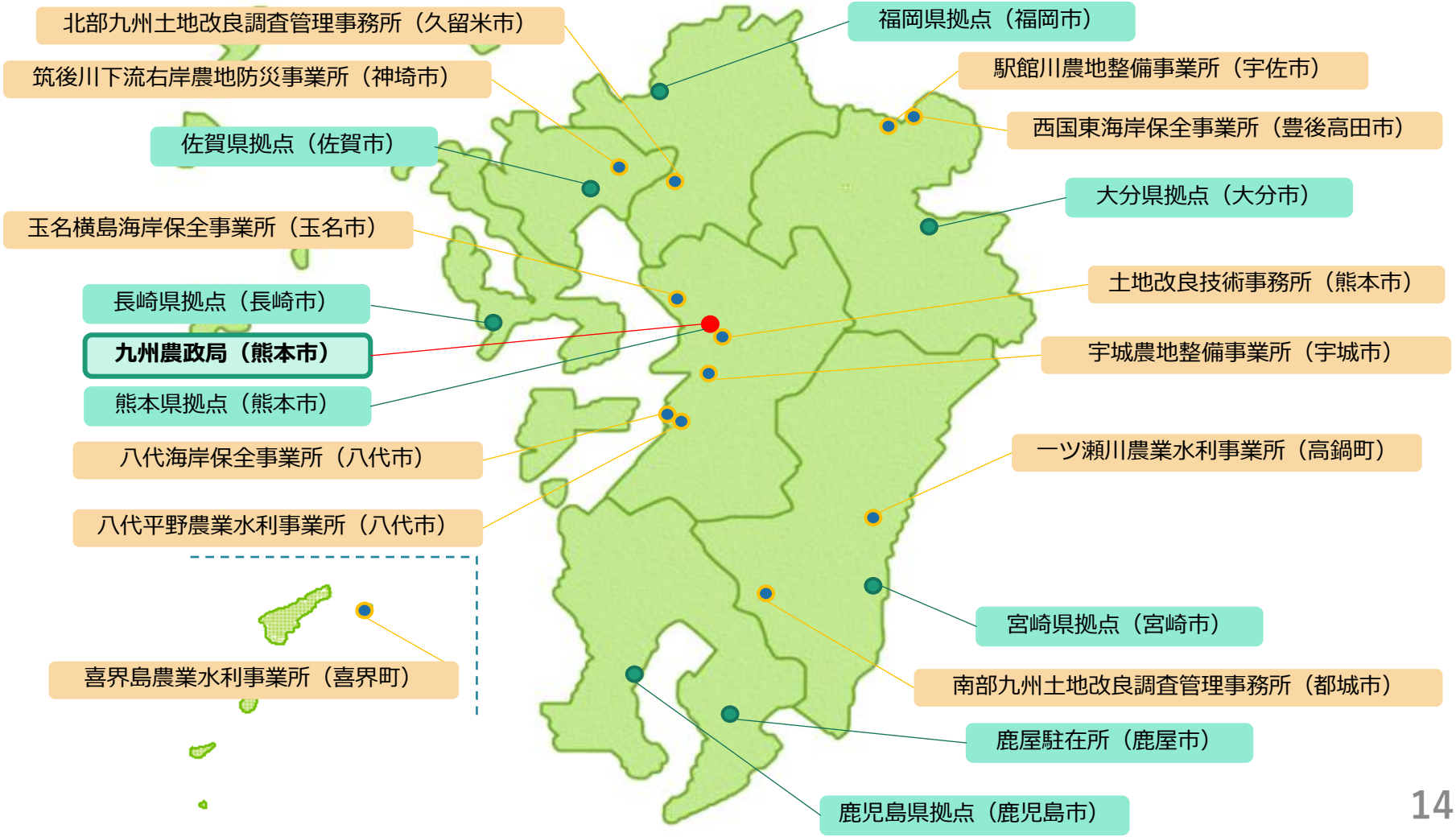
農林水産技術会議事務局
（スマート農業、試験研究）

品目ごとの担当【縦軸】
（コメ、麦、肉、木材、魚など）

- **水産庁**（漁業・水産加工業、資源管理、漁港）
- **林野庁**（林業・木材産業、森林整備、国有林）
- **畜産局**（畜産物、経営安定対策、競馬）
- **農産局**（米・野菜等、経営安定対策、環境保全型農業）
- **新事業・食品産業部**（食品流通・食品製造等）

九州農政局の組織（R8.5現在）

九州農政局は、本局の約590人と各県拠点や事業所の約540人とで構成され、総定員数は約1130人です。（ほかに再任用職員：約280人　非常勤職員：約170人）



九州農政局の組織

本局

- 企画調整室
- 総務部
- 消費・安全部
- 生産部
- 経営・事業支援部
- 農村振興部
- 統計部

各県拠点

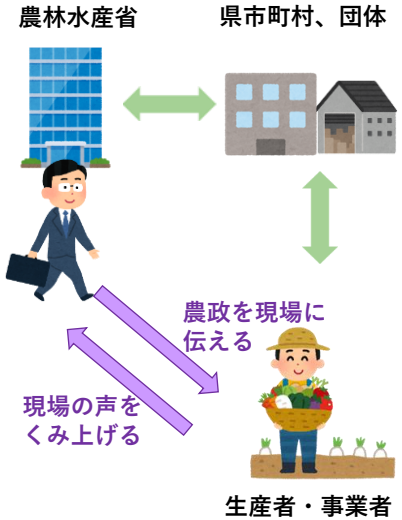
国営事業所

九州農政局の組織

企画調整室

■農業施策の地域への周知、生産者等の声を本省へ伝達
■防災体制整備、被害状況の情報収集　　■デジタル技術を活用した業務効率化
■農政全般に関する広報・報道活動、相談窓口

農業施策の周知、生産者等の声を本省へ伝達	防災体制整備、被害状況の情報収集	デジタル技術を活用した業務効率化	広報・報道活動



九州農政局 Instagram

農業現場の様子や
農水省の取組みを発信中！
コチラからご覧ください

MAFF_KYUSHU

農水省 YouTubeチャンネル

九州農政局の組織

総務部

■職員の採用活動　■人事管理　■勤務時間管理　■給与　■研修　■表彰
■公文書管理　■秘書　■情報セキュリティ　■福利厚生
■契約事務　■物品の購入・管理　■国有財産の管理　■宿舎　■補助金

職員の採用活動

給与

福利厚生

国有財産の管理

九州農政局の組織

消費・安全部

■食品の安全性向上　■食育の推進　■食品表示の適正化　■農産物の安全確保
■植物防疫対策　■家畜疾病対策
■肥飼料・動物用医薬品・ペットフードの安全確保

食育の推進

公開食育授業

食品表示の適正化

植物防疫対策

ﾐｶﾝｺﾐﾊﾞｴ航空防除

家畜疾病対策

ﾜｸﾁﾝ散布(豚熱)

九州農政局の組織

生産部

■米・麦・豆類・野菜・果実など主要農作物及び畜産物の生産・流通の改善等に関する指導
■米の需給調整　■環境保全型農業の推進　■みどりの食料システム戦略の推進
■経営所得安定対策　■スマート農業　■生産資材（肥料、燃料、飼料）高騰関連

米・麦・豆類・野菜・果樹など農産物の生産・流通の改善等に関する指導

畜産物の生産・流通の改善等に関する指導

スマート農業の推進

みどりの食料システム戦略（環境保全型農業）の推進

九州農政局の組織

経営・事業支援部

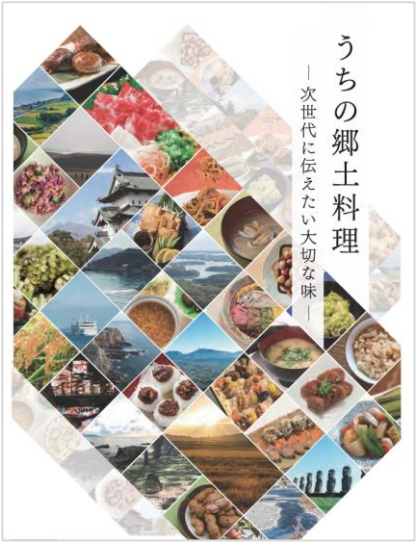
■担い手の育成・確保　■新規就農の促進　■女性・高齢者の活動促進
■農林水産物・食品の輸出促進　■地理的表示（ＧＩ）・知的財産の保護・活用
■食品等の取引適正化　■食文化の保護・継承　■農地集積・集約化

新規就農の促進

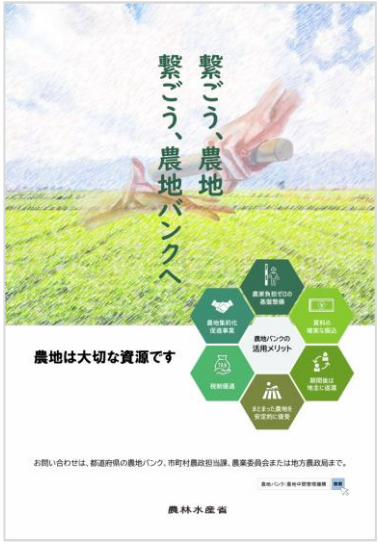
農林水産物・食品の輸出促進

GFP 農林水産物・食品輸出プロジェクト

食文化の保護・継承



農地集積・集約化



九州農政局の組織

農村振興部

■農山漁村の活性化対策（農泊、農福連携、６次産業化、地産地消、情報通信）
■中山間地域等の振興　■棚田の振興　■鳥獣害対策　■土地改良区の指導・監督
■農地転用許可　■農業農村整備事業の調査・計画・実施

農業農村整備事業の調査・計画・実施

農業用ダム

パイプラインの埋設

農山漁村の活性化対策

廃校を活用した農泊施設

農福連携の取組(作業風景)

中山間地域等の振興

農村RMOの取組

棚田遺産

鳥獣害対策

侵入防止柵の設置

ジビエ利活用拡大

九州農政局の組織

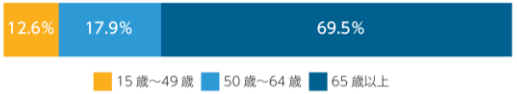
統計部

■農林業センサス　■農林漁業経営体の経営実態
■耕地面積　■農林水産物の生産量
■農林水産統計結果を活用したデータ分析　■各種統計データの提供

九州農政局統計

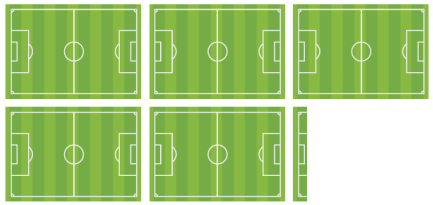
農林業センサス

●農業を担っている者（令和７年概数値）



※基幹的農業従事者とは、個人（世帯）で事業を営む経営体のうち、15歳以上で主に仕事として農業に従事している世帯員をいう。

●経営耕地面積
（令和７年概数値）
農業経営体１経営体当たり
経営耕地面積：3.7ha



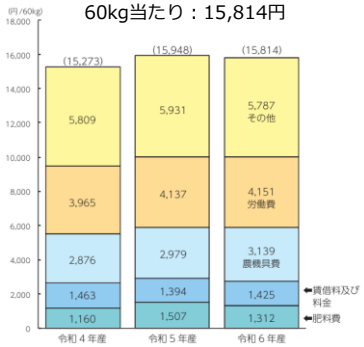
サッカーのピッチ約5.2面分

※サッカーのピッチサイズは、FIFA(国際サッカー連盟）が推奨する105m×６８mで計算。

経営統計調査

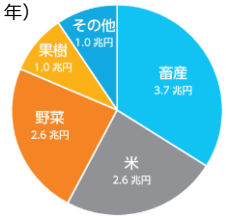
●お米を作るのにかかる費用（令和６年度）

米生産費(個別経営体)
60kg当たり：15,814円



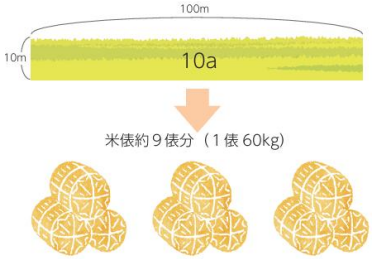
●農業産出額（令和６年）

農業総産出額
10.8兆円



生産統計調査

●お米の生産状況（令和７年産概数値）

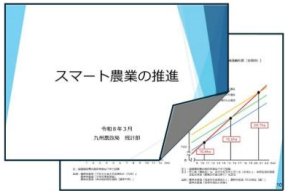


※　１人当たり年間米消費量は 53.4kg
（食料需給表：令和６年度概算値）

AI を活用した筆ポリゴンの更新作業

統計データの分析

スマート農業の推進



農林水産物・食品の輸出促進（輸出産地の拡大）

分析発表会の様子

入省後のキャリアパス（一般職試験・事務）

熊本市の本局に配属され、概ね２～３年毎に本局内、県拠点、事業所に異動します。また、本省への異動もあります。
その間、内部管理系分野の業務、業務系分野の業務等を様々に学び、経験値を高め、係長、課長補佐、管理職へと昇任していきます。

主に地方農政局の管理職

△

課長補佐・専門官

△

係　長

△

係　員

●業務内容●

- みどりの食料システム戦略の推進
- 各種施策に関する企画
- 消費者行政、食育の推進
- 内部管理（人事、会計等）
- 担い手確保対策、
- 農林水産物食品の輸出促進
- 食料安全保障の強化
- バイオマス・再生可能エネルギー利活用促進等の事務
- 農地政策の推進、新規就農対策、経営所得安定対策の事務

●主な勤務先●

- **九州農政局本局**
- 同局管内の各県拠点、国営事業所
- 本省（東京霞ヶ関）

九州農政局チャレンジチーム

農業の課題解決に向けて若手ならではの視点から様々な活動・挑戦(チャレンジ)をしている、若手職員有志によるチームです。活動内容はチーム内で議論を重ねて決定するので、若手のうちから農業が抱える課題について意見を交わし、その解決に向けて主体的に取り組むことができます。

【令和７年度取組例：AGREAL（アグリアル）】

令和７年度は熊本県内の大学生と若手職員が一緒に農業体験を行う中で農業のリアル（魅力や大変さ）を学ぶイベントを、「AGREAL（アグリアル）」と題して企画・実施しました。
次世代を担う「大学生」と生産・加工・流通・消費の現場を訪れ、農業の魅力を伝えるとともに、若手職員が自ら考えチャレンジしていることが、日本農業新聞や地元のテレビ等でも大きく取り上げられました！

チャレンジチームの詳しい活動内容はQRコードから！

BUZZ MAFF（ばずまふ）

農林水産省**職員自らが、YouTuber**となり担当業務にとらわれず、**スキルや個性**を活かして、農林水産省や日本の農林水産業の魅力を発信するプロジェクトです。

【よかトコ九州】農林水産省あるある動画～事業所編～

詳しくはQRコードから！

「BUZZMAFF」でも
検索してみてください！

農林水産省　BUZZMAFF　検索

人材育成・研修　～農村現地研修～

○九州管内の農家のもとに、２週間程度**農家の一員として働き**、
受け入れ農家で衣食住を共にします。（入省２年目職員が中心）

研修受入農家（例）
・花き（洋ラン）
・お茶
・カスミソウ
・トマト　　など

農家の一員として働くので、**農村地域の抱える課題**、**農水省の政策の現場での受け止められ方**などをリアルに見ます。

○このほか、能力向上、知識習得のため、**ITパスポート研修、語学研修、担当業務（食品安全、統計、会計まど）に関する研修**など様々な研修があります！

職員の働き方

○　職員1人当たりの超過勤務時間（1月あたり）

常勤職員（本省）	22.0時間
常勤職員（九州農政局）	**12.6時間**

※職員一人当たりの一月当たりの超過勤務時間（令和６年）（農林水産省HP）
※九州農政局の超過勤務時間（令和７年度（九州農政局調べ））

○　多様な働き方

・**フレックスタイム**制度、**早出遅出出勤**

・**テレワーク**も実施

・R7年の**平均年休取得日数**は**14.8日**（九州農政局）

○　仕事と家庭の両立

・育児休業取得率（R6年度）　男性…86.9%
女性…100%

出典：国家公務員の育児休業等の取得状況のフォローアップ

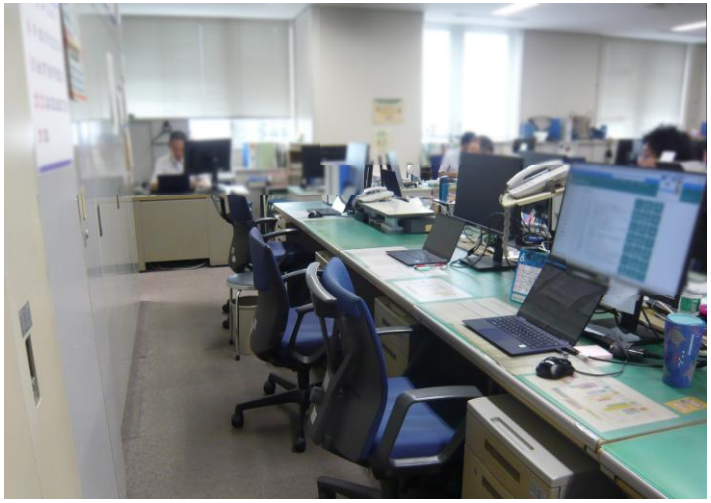
○　メンター制度

・採用1.2年目の職員に対して、月に1回以上、20分程度、先輩職員がこれまでの経験等に基づき、助言等を行うものです。

○　パルスサーベイ

・若手職員を対象に、２か月に1回実施する、体調や業務についての調査で、自身の状況を人事担当へ伝えるものです。

職場の雰囲気



九州 農業WEEK
J-AGRI
5/27・28・29
グランメッセ熊本
九州畜産資材EXPO
5/27・28・29
6月は
食育月間

国産いぐさ・畳表使用

安心な職場づくり
あっせん求職活動
規制
規制
遊きかけ
規制

新規採用者への質問

〇現在の仕事内容を教えてください。

職員の雇用保険申請や、財産形成貯蓄という制度の申請等、主に厚生関係の仕事に携わっています。

〇職場の雰囲気はどうですか？

同じ質問をしても、根気強く教えてくださるような優しい方が多く、とても明るい雰囲気の職場です。

学生へのメッセージ

どんなに辛くても、
自分を信じることを
忘れず、頑張ってください。
一緒に働ける日を
楽しみにしています。

令和8年度採用
総務部総務課
Hさん

〇現在の仕事内容を教えてください。

課内における庶務関係の仕事や、契約の支払いに関する仕事をしています。

〇入省を決めたポイントは何ですか ？

九州農政局の業務説明会に参加した際に、現場の声や課題に目を向け、取り組むところに魅力を感じたからです。

学生へのメッセージ

忙しい時期だとは思いますが、九州農政局の仕事内容に興味を持っていただけると嬉しいです。
頑張ってください！

令和8年度採用
総務部会計課
Mさん

今日お話すること

1．農林水産省について

2．九州農政局で働くとは

3．採用案内

採用スケジュール(2026年度国家一般職試験(高卒程度))

9/6（日）	10/8（木）	決まり次第、HPに掲載します。	10/14（水）～10/23（金）	11/17（火）	11/17（火）以降
人事院第1次試験	第1次試験合格発表	**機関訪問** **※詳細は九州農政局のHPをチェック！**	人事院第2次試験（面接）	最終合格発表	**内定**

農林水産省の魅力

大きな転換期にある社会課題（食・農林水産業）に
幅広いフィールドで確かな貢献ができる。

転換期にある農林水産業

・今、農林水産業は課題が山積している
・ここから10年、20年で農林水産業は大きく変わる
・いつの時代になっても、食と環境を守る仕事は決してなくならない

確かな貢献

・産業（農林水産業、食品産業）を所管するからこそ、具体的な貢献ができる
・食という身近なものに関われる
・ピンチの今だからこそ、若手がチャレンジして変革を起こせる

幅広いフィールド

・１次産業を中心とした多様なフィールド
・実際に世の中を動かせる豊富なツール
・ローカルからグローバルまで幅広い活躍の場がある